

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

PayPay カード株式会社（証券コード：－）

【据置】

長期発行体格付	AA－
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J－1＋

■格付事由

- PayPay カードは、Zホールディングス（ZHD）がヤフーを通じて100%出資するクレジットカード会社。ZHDグループと資本、経営、営業、資金調達など各面で密接な関係を構築している。モバイル決済 PayPay とともに決済サービスの提供やポイント付与による顧客の囲い込みの役割を担うなど戦略上の重要性が高く、グループとの事業の結び付きは極めて強い。これらを踏まえ、格付は ZHD のグループ信用力と同格としている。
- ZHD のグループ経済圏の拡大を背景に市場地位と競争力は高まっている。グループの PayPay、ヤフー、ソフトバンクの顧客基盤を活用できる点が強みである。21年12月に新カードの発行を開始したことにより、会員獲得が加速するとみている。グループの金融事業の PayPay ブランド統一が着実に進展しており、PayPay カードとグループの各面での一体性は強まる方向にある。
- 収益力は改善の余地がある。コロナ禍においても、カードショッピング取扱高やショッピングリボ債権残高を伸ばしており、営業収益は拡大している。一方で、業容拡大に伴って営業費用も増加しており、経常利益ベースの ROA や、償却引当金の利益による与信費用等の吸収力はやや低い。今後は新カードの会員募集にかかる販売促進費などが増加する見通しであり、利益水準が低下する可能性がある。
- 資産の質の健全性は保たれている。現状ではコロナ禍の影響は限定的であり、延滞債権比率や貸倒償却率は維持されている。営業資産対比でみた与信費用比率も抑制されている。利息返還金については、返還金額が収益対比で小さく、引当金も十分に積まれている。
- 資本充実度はおおむね十分な水準にある。営業資産の拡大に伴い、JCR 調整後の自己資本比率やリスク量対比でみた資本充実度は、低下傾向で推移すると想定されるものの、一定水準を維持可能とみている。必要に応じてグループの支援も期待できる。流動性に対する懸念は小さい。グループファイナンスや多数の金融機関との安定的な取引関係を背景に強固な間接調達基盤を構築している。CP 発行や債権流動化などの多様な直接調達手段も有している。

（担当）坂井 英和・浅田 健太

■格付対象

発行体：PayPay カード株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA－	安定的

対象	発行限度額	格付
コマース紙ペーパー	1,300億円	J-1+

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年12月22日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三
主任格付アナリスト：坂井 英和
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「信販・クレジットカード」(2013年7月1日)、「親子関係にある子会社の格付け」(2007年12月14日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) PayPayカード株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であることを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル